

第 19 回日本歯科東洋医学会九州支部講演会

～オーラルフレイルと東洋医学～

特別講演

- 1 漢方の基本「五臓」を理解しましょう！
～まんじゅう図を用いて、五臓の関連を考える～
表川実哉 おもかわ歯科医院 11:10～12:30
- 2 オーラルフレイルから考える漢方方剤グループ「人参剤」の応用
～漢方方剤・補中益気湯・十全大補湯の活用について～
小林宏 薬局誠宏堂 13:30～16:00

九州支部理事講演 9:10～11:00

- 1 明日から使える保険適用漢方薬 重住大乘
- 2 葛根湯と顎関節症 ～顎関節症を得意分野にしよう～ 草場隆夫
- 3 多種多様な疾患に使える「原穴・絡穴・ゲキ穴」をマスターしよう！
～鍼でない誰でも使えるゼロの円皮鍼～ 小原浩司

受講料

当日受付（弁当なし）：歯科医師 10,000 円 学生・パラデンタルスタッフ 2,000 円
事前登録（弁当あり）：歯科医師 9,000 円 学生・パラデンタルスタッフ 2,000 円（弁当代別途）
事前登録締切：8月9日（期日までの振込みを事前登録とします）
振込みの後、下の申込書を0944-53-5729までファックスしてください

振込先：熊本銀行菊南支店 普通預金口座3071327
日本歯科東洋医学会 九州支部 会計 井上 泰子
整理の都合上、振込は法人名でなく個人名でお願いします
お振込み時の控えをもって領収書に代えさせていただきます

福岡県歯科医師会館

令和元年8月25日(日) 9:00～16:00

日歯生涯研修ICカードをお持ちください

認定医の履修単位10が取得できます

----- 切り取り線 -----

参加申込書（事前登録用） 締切 8月9日 FAX 0944-53-5729

フリガナ	
氏名	TEL
E-Mail	FAX
住所 〒	
勤務先	TEL FAX
勤務先住所 〒	
振込金額	円 本紙は一人、一枚の記入をお願いします（コピー使用可）

FAXの前に必ず振込をお済ませください。振込がない場合には事前登録の扱いにはなりませんのでご注意ください。

問合せ先
九州支部事務局
くさの歯科医院
草野真理子

〒836-0805
大牟田市通町2丁目12-1
TEL 0944-53-0488
FAX 0944-53-5729

※事前登録料の払い戻しはありません

漢方の基本「五臓」を理解しましょう！

～まんじゅう図を用いて、五臓の関連を考える～

おもかわ歯科医院 表川実哉



漢方を学ぶにあたって、最初に理解しにくいのが五臓です。

これら五臓のつながりは、五行理論によって論じられることが多く、相生・相克などで関連付けられます。実際の人体の内部における五臓の関係は、五行理論ではイメージしにくい部分もありますが、人体内の五臓の位置関係をわかりやすく図示したもの、いわゆる「おまんじゅう図」を用いて考えると、五臓の「熱」と、その波及について理解し易くなります。

五臓のそれぞれの部位で気血の流れが順調であれば、熱の分布も正常ですが、何らかの原因で、臓の失調つまり気血の停滞が生じた場合、問題の臓に熱が停滞し、それが長期化すれば、熱は上方の臓に影響を与えることとなります。

例えば、脾の不調により熱の停滞が起こると、この熱は上方の心に及び、イライラや不安感など心熱症状を呈するようになります。上焦に熱が上がった分、下焦には熱が減少し、いわゆる上熱下寒の病態となります。また、ストレスにより肝の疏泄が停滞し肝気鬱結となった場合には、やはり肝に熱を生じます。この熱は上方に上がり、脾に悪影響を与え、五行理論における「木克土」の病態と考えられます。

まんじゅう図により、五臓の熱の動きを視覚的にとらえて治療や処方を考える流れについて、お話いたします。

表川実哉（おもかわじつや）

1988年 九州歯科大学卒業

1994年 おもかわ歯科医院開業（周南市）

〈所属学会等〉

日本歯科東洋医学会 常任理事・認定医・指導医

日本東洋医学会

日本歯科薬物療法学会

ジャパンオーラルヘルス学会

TAO東洋医学研究会 常任理事

山口県高等歯科衛生士学院講師

オーラルフレイルから考える 漢方方剤グループ「人参剤」の応用

～漢方方剤・補中益気湯・十全大補湯の活用について～

薬局誠宏堂 小林 宏



今回のテーマ「オーラルフレイルと東洋医学」をいただきまして、まずその「オーラル」は東洋医学の五臓という分類においてどこに振り分けられるのかを考えました。歯科医の皆様の主戦場である口腔内、歯も含めて五臓理論の分類では「脾胃」にあたります。肝・心・脾・肺・腎、五臓の呼び方の中で唯一1音で発音される「脾」に関してはその一番近い関係の五腑のひとつである「胃」とあわせて「脾胃」と発音されます。多くの書籍で説明される脾臓と同意で、口から肛門までの筒状臓器全体だけでなく、食べたものを体に有益なものに形を変えて活用するすべての働き全体をさすものと解釈するほうが、東洋医学を修得する上では大切なポイントとなるように思います。

その「脾胃」のエネルギー不足である「脾胃気虚証」に適応する方剤グループである「人参剤」を、オーラルフレイルに対してどのように活用していくかを中心にお話していくこととなりますが、昨年、歯科保険適応漢方方剤に補中益気湯と十全大補湯という「人参剤」グループの2大方剤が新たに加わったことは、歯科医の先生方において患者様の全身ケアにまで関わっていく大きな転換期になるのではないかと私は考えます。この転換期に東洋医学の歯科領域での応用をされる先生が増えていくことを希望いたします。

小林 宏

1985年 明治薬科大学 薬学部衛生薬学科 卒業

1989年 漢方専門薬局 「薬局誠宏堂」開局

1996年 福山大学薬学部非常勤講師（2017年終了）

福山大学漢方研究会担当講師

（2019年3月終了）

その他の講演活動

2007年～現在

NHK文化センター「やさしい漢方入門」担当講師

2009年～3年間 小太郎製薬 尾道漢方研究会 講師

2013年～2年間 広島漢方研究会 入門講座担当

2013年3月～

TAO東洋医学会（歯科医師中心の漢方研究会）講師

著書 漢方入門以前（文芸社）